

③ 名城いぬい散策コース

約 5.5 km

名古屋城からみて戌亥(北西)の方向に広がる散策コースです。名古屋城と関係の深い史跡を訪ねます。また、美濃路散策コースにも接続しています。



★マークには案内看板があります。

1 富士浅間神社 (ふじせんげんじんじや)

約700m

慶長15年(1610)名古屋城築城工事の普請場となったため、富士塚町(東区)から現在地に移りました。



2 辰ノ口水道大樋 (たつのくすいどうおおい)

約1870m

寛文3年(1663)、2代藩主光友が御用水と名古屋最古の水道幅下上水を作らせました。勝川(現庄内川)から取水し、名古屋城北の御深井御堀まで水路御用水を開削して幅下方面へ木樋で配水しました。



3 興西寺 (こうさいじ)

約300m

徳川家と関係が深いお寺。藩主より深井丸という山号を戴き、徳川家の家紋三葉葵を許され、今も瓦などに葵紋を見ることができます。



4 蜂谷宗意宅跡 (はちやそういたくあと)

約70m

蜂谷宗意は享和3年(1803)に京都に生まれ、志野流第15世を継承。明治維新の混乱を避け名古屋に移住し、香を焚いて香りをきき分ける日本独特の芸道香道を伝えました。現在も志野流香道松隠会がその伝統を守っており、名古屋市無形文化財に指定されています。



5 宗像神社 (むなかたじんじや)

約1050m

徳川義直が名古屋城内に勧請した三社の一つで御深井弁天(おふけべんてん)とも呼ばれていました。宝物に義直筆の社号額、狛犬があります。例大祭は10月で琴の奉納が行われます。境内にある和徳稻荷社の鳥居と桜は見事です。



6 しゃんしゃん馬の碑 (しゃんしゃんうまのひ)

約180m

児玉村から徴用されて戦死した馬の慰霊碑(将棋の駒の形)。この碑には歯痛に効果があるともいわれています。



7 旧志水家玄関車寄せ・風信亭 (きゅうしみずげんかんくるまよせ・ふうしんてい)

約350m

志水甲斐守屋敷玄関車寄せは、明治元年(1868)に名古屋城三の丸から移築。庭内にある風信亭(見学できません)は、明治2年(1869)に現在地に移されました。いずれも名古屋市指定文化財です。



8 観音寺 (かんのんじ)

約1870m

慶長18年(1613)創建。本尊の聖観音像は二代藩主光友から寄贈されたといわれています。元禄期には、広大な境内で操り芝居が演じられていたそうです。

